

第2回東北ホームタウンサミットIN新潟

各ボランティア組織の現状と課題

1. 仙台の場合・・・ベガルタ仙台ボランティアが試合毎に100人以上参加している。他の地域ではなかなかボランティアが集まらない中、羨ましいと他の地域から相次いで声があがった。

昨年(2005年)2つの新しいボランティア組織が誕生。SV2004としてボランティア組織の立ち上げから参加。

東北楽天イーグルス→楽天イーグルスマイチーム協議会

仙台89ERS →イエローブースターズ

それぞれのメンバーとしても参加している。

それ以外にも、泉ヶ岳アウトドアフェスティバル、仙台カップ、サッカー日本代表戦(対ホンジュラス戦)へのボランティアの参加。特に9月の日本代表戦についてはベガボラ、グラボラ、楽天ボラ等の県内ボランティアが集結して、ひとつの大きなイベントを成し遂げた。恐らくこのような試みは全国初ではないか？

10月に入ってラグビートップリーグの試合でエコステーションの設置並びに運営→今後エコステーションの普及拡大と基準作りが大切。

SV2004として「チームマイナス6%」の活動に参加。今後スポーツを通じて地域や社会の課題解決に取り組んでいきたい。

2. 甲府の場合・・・「ヴァンフォーレ甲府が消滅してしまうかも知れない・・・」といった危機感からチームを支えるボランティア組織が発足した。

サポーターが独自に署名・募金活動を実施。支援団体の設立。

ヴァンフォーレ甲府社長の海野氏→実は「整理」を任された。

少しでも球団の運営費を助けようとサポーターがボランティアに。

2005年度のボランティア登録人数は160名程度。その中で1試合あたりの参加者数は60名程度。

運営費が少ない、社員の人数が少ないなどの理由から試合でのボランティア活動の内容は多岐にわたる。入場口のチケットもぎり、チームグッズ販売、総合案内、DJ、音響、電光掲示板、公式記録員、監督記者会見フォロー、選手控え室片付け、公式HP運営、サポーター向け会報の発送等々・・・ゴミ片付け以外にもたくさんの業務がある。→大変ではあるが、やりがいや達成感などは感じやすい。

3. 山形の場合・・・各試合ボランティア参加者が少なく、試合によっては0～数人ということもある。ファミマの社員などがヘルパーとしてボランティア活動に参加したり、一般のサポーターが参加するクリーンサポーター制度の実施。

モンテディオの活動としては、入場口管理(もぎり、カウンター、移替え)を引き続き実施。場内清掃におけるクリーンサポーター制度のシステム化を提言。サポーターステーション(場内案内、告知機能、マッチデープログラム配布、ゴミ整理)設置提案を行っていきたい。

今後はモンテディオだけではなく、Vリーグ パイオニアレッドウィングスや東北楽天イーグルス2軍のサポートも併せてやっていきたい。スポーツだけではなく、県内各地のイベントや奉仕活動に参加するなどAileの知名度向上や活動内容のアピールが必要である。

4. 新潟の場合・・・W杯会場として新潟スタジアムが完成した。W杯終了後もコンフェデ杯が開かれるなどいろいろな大きなイベントが開かれている。2003年にアルビレックスがJ1に昇格するとますますサッカー熱は高まり、今ではJ1でも1、2位を争うほどの観客動員を集めており、何度かJリーグから表彰をされるほどである。

クラブボランティアとは？→クラブ運営をサポートするボランティアスタッフ。5名を選出。
クラブとボランティアとの橋渡しの存在。クラブとボランティア全体のコミュニケーション向上。
ボランティアがやりがいを感じる事が出来る環境の実践。
試合毎アンケートの実施→運営上の問題点などを洗いざらいにして、球団に提出。それをベースにFAQを作成。サポーターと球団との意思疎通を図っていく。反省会やアウェーツアー等の実施。

< 報告 工藤 衛 >

< 新潟サミットの流れ >

2月4日(土) 会場：新潟スタジアム第5会議室

12:30 受付開始

13:00 開会

各クラブのボランティア活動内容紹介
(山形・仙台・新潟・甲府)

15:35 休憩

15:45 講演会

講師：Jリーグ選手会事務局長 加藤富朗様
演題：Jリーガーたちの社会貢献活動

16:50 終了

18:30 懇親会(万代地区 ビルボードプレイス2 やるき庄屋)

2月5日(日) 会場：新潟スタジアム第8会議室

8:45 受付開始

9:00 分科会

ボランティアの認知度をアップするために
2006シーズンの抱負

10:30 各班の発表 1班10分×5班

11:20 記念撮影

11:45 観光ツアーに出発 (昼食会場未定 昼食後、聖籠町アルビレックス新潟クラブハウス 他)

15:30 解散